

科目名	博物館資料論					単位	2.0
担当教員	脊古 真哉						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	1371

●授業のテーマ  
博物館資料論

●到達目標  
博物館資料の取り扱いについての理論と実際に関する知識を修得する。

●学習内容(授業概要)

博物館学芸員資格修得のための必修科目である。博物館概論・博物館学各論Ⅰの内容を踏まえて、博物館学芸員として必要な知識の修得を目的とする。博物館資料論について講ずる。主に人文系、歴史系博物館の場合を例として、博物館資料の取扱いに関する理論と方法について述べる。また、博物館における調査研究活動の意義と方法についても述べる。積極的な受講態度を望みたい。

●学習内容(授業計画)

1. 博物館資料の概念(1)－あらゆるくもの>が博物館資料となり得る－
2. 博物館資料の概念(2)－1次資料と2次資料－
3. 博物館資料の概念(3)－音声・映像などの記録－
4. 博物館資料と文化財(1)－博物館と地域の文化財の調査・保護活動－
5. 博物館資料と文化財(2)－文化財保護法の概観1－
6. 博物館資料と文化財(3)－文化財保護法の概観2－
7. 博物館資料と歴史資料(1)－文献史学の場合－
8. 博物館資料と歴史資料(2)－考古学の場合－
9. 博物館資料と歴史資料(3)－民俗学の場合－
10. 博物館資料の収集・整理保管・記録化(1)－資料台帳・目録－
11. 博物館資料の収集・整理保管・記録化(2)－命名・計測・映像化－
12. 博物館における調査研究活動(1)－資料調査入門－
13. 博物館における調査研究活動(2)－文字資料・絵画資料の取り扱い方－
14. 未来の博物館にむかって
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習として、前回の授業の内容の確認をすること。  
事後学習として、配布資料の再読・確認を実施すること。

●成績評価方法・基準

学期末試験 70%、平常点 30%

●テキスト(必携)

≪No.1.≫書籍名：『博物館学を学ぶ』、著者名：水藤真、出版社：山川出版社、販売先：(株)Do

●参考文献／その他

『博物館を考えるⅡ』 水藤真 山川出版社  
講義中に適宜指示し、資料を配布する。

●履修上の注意

講義への出席を重視する。